

指定地域密着型サービス外部評価 自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>「毎朝の申し送り時点全職員が声を出して:復唱」理念に基づき、業務を円滑に実施するため、かつ、形骸化することのないようその醸成を図る。</p>	<p>○</p> <p>職員全員が左記の事項を認識等することで、「理念」=「介護技術」利用者を「者」でなく、「人生の先輩として敬う」介護技術(実践)の向上が目標である。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>上記のとおり、取り組んでいる。</p>	<p>○</p> <p>上記のとおり、取り組んでいる。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>家族：理念に基づき、毎月便り「生活状況・医療(看護)・総括事項」地域：運営推進会議で活動状況を報告して、利用者が理念に基づき地域の生活に浸透するよう、意見・要望・評価をいただき、理解を深める取り組みを実践している。</p>	<p>○</p> <p>地域との交流：老人会からのボランティア受入。祭りへの参加及び幼稚園児等を含め、取り組んでいきたい。幼稚園児との交流を現在は調整段階である。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>左記のとおり実施している。特に火災時は、利用者の避難誘導等を快く引き受けていただいている。更に、グループホームの家庭菜園と隣の畑が隣接しているため、隣人と気軽に会話をしている。</p>	<p>○</p> <p>経年と共に、地域に根が生え、幹及び枝葉ができて、存在感のあるグループホームにしたい。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>左記のとおり実施している。特に自治会に加入し交流している。</p>	<p>○</p> <p>上記のようにするには、グループホーム内を開放して、地域の方が気軽に立ち寄っていただく雰囲気作りを目指している。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議等で左記のとおり実施している。地域は道幅が狭く、車の離合が困難であるため、当ホームの敷地を「0.5m×21.151m」地域へ貢献、更に部内教育(精神・神経内科医師を講師)の勉強会に参加していただいている。	○	利用者・その家族・職員・地域及び行政へ貢献することで、事業の継続・発展がある。現に、利用者の要介護度が軽減して介護を実践している。「65が54」は家族の負担と行政の負担が軽減。年間350万納税、「社会福祉法人は納税義務:無」。経営側はこの収入で生計維持し、皆無に近い。その分、職員へ還元し「質=人材」の向上を図る。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の「評価」を客観的にして欲しい。主観がまかり通っている感がある。 ※外部評価の費用を軽減して欲しい。評価委員の日当等を含め高い。納得できる数字が欲しい。民間企業の経費は創意工夫を繰り返し繰り返しの連続で軽減している。外部評価を活かし、左記事項に取り組んでいる。	○	左記事項は設問外と思慮するが、明確に回答して欲しい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回、議事録を作成し「職員に周知して、改善事項等を是正している。」今回は、地域交流で幼稚園へ出向き調整しているので、細部を詰めて欲しい等の助言をいただいている。	○	一部のご家族には議事録を送付「遠隔地のため」しているが、家族会等で意見を伺い、全家族に送付か否かを確認したい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営上の疑義等指導をいただいている。	○	今後は市の担当者へ何う、回数を増やし指導を仰ぎたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	左記事項に取り組んでいる。事例がある。裁判所へ出向き「不適格の申立」を理解してもらった。「後見人不適格」=再審理。	○	余命ある限り、尊厳のある生活が送れるよう、今後とも支援したい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	介護施設では絶対遭ってはならない。毎月の部内教育等、更に機会教育で実施。特に毎朝、利用者の状態「外見・精神的」を声かけ確認している。「会社方針=真実かどうか・皆のために成るかどうか・皆に公平か・好意と友情を深めているかどうか」を掲げ、業務の判断基準である。虐待の行為は、後日に必ず判明=真実かどうかに反し=解雇。	○	介護を実践する上での判断基準は、会社の方針「真実かどうか・みんなに公平か・みんなのためになるかどうか・好意と友情を深めているかどうか」の四つの言行。職員の質を高めるために、形骸化することのないように認識させる。これに反する職員は、今後も解雇する方針

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	左記事項に取り組んでいる。問題が起きてからでは遅いので、危機感をもって対応している。	○	今後も、社会の流れに沿った、契約書の見直しを実施して理解・納得できる体制を図る。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の不満・意見及び苦情、これまでも数件あった。実態を把握して、事実を確認後、迅速に対応している。特に「利用者対職員」の場合は、解雇をした。	○	左記事項を「未然に防ぐ」配慮を実施。今回全職員を取締役施設長＝管理者が「個人面接」を実施した。今後は年2～3回程度、ただし、重大なその兆候があれば、即、実施して対応したい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	設問3:で「取り組みの事実」に記載済み。暮らしぶりは「写真」で報告している。	○	今後も継続したい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時に職員が状況を報告、その際に「左記事項」があれば伺い、対応している。事例は「施設北側のフェンスに目隠し塀をして欲しい」要望があったので、「運営推進会議(18.8.23)で意見を伺った所」塀の新設は必要ないと、結論をいただいた。	○	今後も左記のとおり実施したい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の全体会議を設け、意見交換を実施している。	○	今後も継続したい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	法定勤務時間は、31日の月=177時間を実働3時間少なく、勤務割を作成している。残業は、特別な事項のない限りなし。1日の職員配置法定時間24時間を6時間程度余分に配置している。ただし、全体会議は実働174時間以外に1時間充当している。したがって、月の休み8回を確保。夜勤明けは除く。本人の希望を100%受入れた勤務表で実施。	○	今後も継続したい。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	左記のとおり実施している。特に、新規採用者等の夜間勤務に就く場合は、必ず2～3回程度指導する職員と一緒に勤務(機会教育の一環である)「みんなのためになる」=会社の方針を重視。経営上は「経費(夜勤手当)」が増大し厳しいが、「みんなのためになる」=利用者+職員。	○	今後も継続したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職場は本来「自分が成長できる先輩がいるか。更に自分の目標を達成できる会社か」この2点が必要と思慮。よって、各職員に将来の目標を掲げ、「年齢に相当する地位と収入が必要」と全体会議で話している。したがって、部外研修等機会があれば、勤務時間中でも参加を可。部内教育は設問6で掲げているように、香川医大勤務の医師から10回シリーズで実施している。取締役施設長は療養型病院の総師長経験者。</p>	○	今後も継続したい。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>左記事項は同業者4社と、職員の交流(1～2日勤務)、当施設の部内研修「勉強会」に参加したり、切磋琢磨で質の向上を目指している。</p>	○	今後も継続したい。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>各職員の中に溶け込み=同じ目線・空気を吸い=「雰囲気作り」等を実施している。施設外で「食事等」の場を持って「聞き役」に徹している。</p>	○	今後も継続したい。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>設問19=のとおり、努力している。</p>	○	今後も継続したい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>認知症の方ばかりで、時には5分経過したぐらいでも、同じことを繰り返し聴く、また、求めに応じ対応している。本人は知性は衰えているが、その分、感性が鋭く、研ぐ済ませ、「職員の心のこもった対応か否か」は本人が良く承知されている。「職員は毎日勉強の連続」=信頼関係。初期の段階は、当施設で面接し、本人の意向を傾聴している。</p>	○	「職員は毎日勉強の連続」で、今後も継続した雰囲気作りを実施。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家庭に出向くか、当施設を見学していただき、左記事項を伺っている。</p>	○	今後も継続したい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人及び家族の意向を傾聴し、その意向を100%を受入れるには「如何したら良いか」、あらゆる角度から検討して納得をいただく。無論、専門的な助言を申し上げ、対応している。	○	今後も継続したい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人及び家族の施設見学を、数回していただき、雰囲気等に馴染みながら、自然に入所していただく。「認知症対応型共同生活介護」の施設であるため、入所時「ケアプランを作成」に基づき「サービス提供」と成る。この設問は「不適當」「認知症対応型共同生活介護施設」以外であれば可。	○	今後も継続したい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「認知症対応型共同生活介護の基本である」各職員は熟知している。本人が主役で、職員は脇役で取り組みに努力している。	○	今後も継続したい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	「認知症対応型共同生活介護の基本である」各職員は熟知している。家族会・月の便り・面会及び電話等で取り組みに努力している。	○	今後も継続したい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	「認知症対応型共同生活介護の基本で」上記のとおり、支援をしている。	○	今後も継続したい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	「認知症対応型共同生活介護の基本で」、設問27・28、及び29のとおり支援をしている。	○	今後も継続したい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	「認知症対応型共同生活介護の基本で」、設問27・28・29及び30のとおり支援をしている。	○	今後も継続したい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	「認知症対応型共同生活介護の基本で」、設問27・28・29・30及び31のとおり支援をしている。	○	今後も継続したい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「認知症対応型共同生活介護の基本で」、家族からの情報で、アセスメントして生活上のニーズを明らかにしている。	○	今後も継続したい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	「認知症対応型共同生活介護の基本で」、家族からの情報で、アセスメントして生活上のニーズを明らかにしている。	○	今後も継続したい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	「認知症対応型共同生活介護の基本で」、家族からの情報で、アセスメントして生活上のニーズを明らかにしている。	○	今後も継続したい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護に携わる職員全員の意見は、「ユニット会議」で本人が現状の状態を一日でも長く、継続し生活できるかを、介護予防も含め意見交換し、作成している。	○	今後も継続したい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	「認知症対応型共同生活介護の基本で」アセスメントして、「介護予防も考慮」生活上のニーズを明らかにしている。	○	今後も継続したい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	「認知症対応型共同生活介護の基本で」職員の意思統一を図り、「介護予防も考慮して」生活上の実態を明らかにしている。	○	今後も継続したい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	「認知症対応型共同生活介護」単一の施設であるため、自宅で生活しているのに近い状態で、臨機応変に支援している。	○	今後も継続したい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議等に図りながら、支援している。	○	今後も継続したい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在のところは、支援の必要は迫っていない。今後左記の状況に成れば実施したい。	○	今後も継続したい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在の所は地域包括支援センターとの協議は運営推進会議のみだが、今後左記の状況に成れば実施したい。	○	今後も継続したい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	取締役施設長か看護師が「療養型病院の総師長であった経験を生かし」、本人の状態を瞬時に読み取り、適時医師・家族等に連絡をとり、的確に対応している。施設への往診は毎週、内科・歯科・神経精神内科のホームドクターで支援している。	○	今後も継続したい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	設問19=の「精神・神経の医師で香川医大勤務医から10回シリーズで勉強会実施」。この医師が毎週往診、この往診前日は全職員で「カンファレンス」している。これは、医師が診察する場合、職員に細部の状態を傾聴。利用者本人への確な診断の判断指針となるために支援している。	○	今後も継続したい。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	設問43=のとおり、左記事項は支援している。	○	今後も継続したい。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	左記事項は、当施設の取締役施設長(看護師)と家族の意見を重要視して、病院関係者を含め、実施している。	○	今後も継続したい。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	平成18年度介護保険法の改正に伴い「当施設」では、平成18年3月31日現在のに入居している利用者の家族から、「医療連携体制同意書」を同日までいただき、実施している。「急性期」「慢性期」「重介護」「終末期」及び「入院時」についての内容である。細部事項はその時点で協議。	○	今後も継続したい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	左記事項は、同上のとおり準備している。	○	今後も継続したい。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報提供は家族の同意を求め、左記事項に努めている。	○	今後も継続したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報については、機会教育で各職員の意識は高い。したがって、業務に反映している。例えば、面会票についても、一人一枚で切り離して、氏名等を記入するようにしている。よって、他の面会者から「何時・誰が来訪したかは」判明できないようにしている。	○ 今後も継続したい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	左記事項は、例えば、献立作成時に「何が食べたい・食材はどんな物を入れる」と自己決定及び働きかけをしている。	○ 今後も継続したい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外気浴・食事時間及び入浴時間は、一応決めているが、「利用者の状態・希望」を優先している。	○ 今後も継続したい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	利用者の「家族と調整して、使用できる金額」を考慮し、実施。	○ 今後も継続したい。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の意向を優先に、「食事作りをはじめ、生活に係る事項」の全て、強制は絶対しない。	○ 今後も継続したい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	生活に「潤い・幅」を持って、楽しんでもらっている。現在は「酒・タバコ」を嗜む利用者はいない。	○ 今後も継続したい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個人の排泄表を作成して、「排泄のリズムを掴んで、オムツの人でも」事前にトイレ誘導して、本来の状態できるように支援をしている。	○	今後も継続したい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	左記のようにしている。設問52のとおり実施。	○	今後も継続したい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼食後を左記のようにしている。特に、食事後なので「横になる時は、右側を下になるように心がけている。	○	今後も継続したい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	誕生会・地域の神社へ初詣・花見・地域の祭り等、季節感のある野外行事への参加、または家庭菜園での作業「種蒔・苗上・収穫」実施。地域ボランティアの受入「舞踏・カラオケ・風船バレー・手品等」、更には庭先でのバーベキュー大会。季節感をかもしだすため、壁面へ飾りつけを実施して、左記事項を支援している。	○	今後も継続したい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	設問53のように「家族の意向を尊重し、収支は常時確認をいただき」支援をしている。	○	今後も継続したい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	平屋の施設であるから、気軽に各ユニット朝食後又は夕食後庭先に出て家庭菜園の状態を観たり、思い思いの時を楽しんでいる。	○	今後も継続したい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	要介護の程度に幅があるため、状況に応じ、積極的に実施。	○	今後も継続したい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話等の使用制限と料金も徴収していない。家族からは、利用者宛のFAXで意思の疎通を図る等で、左記事項を支援している。	○	今後も継続したい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	時間に制限なく、職員が笑顔でいつでも対応。玄関の横に、談話ができるよう「ソファセット」を設置している。	○	今後も継続したい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	設問11と同じように「介護施設では、絶対あってはならない=ただし、家族・医師の意向を尊重し最小限度に留める」。職員全員が「この事項」は共有する。	○	今後も継続したい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	取り組んでいる。徘徊者がいる場合も、職員をその人に限定して見守りをして、玄関から外に出かけたら、職員も一緒に外出する等の措置をして、対応している。「徘徊の原因を探り=表情を含め、早めに察知」し、未然に徘徊の状態にならないように努めている。	○	今後も継続したい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	朝=夜勤者と日勤者の申し送り・夕=日勤者から夜勤者へ「確実に状態等危険を未然に防止策等を含め、配慮している。特に各ユニットで会議を実施して、全職員が問題(安全確保等)を共有している。	○	今後も継続したい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状態(異食等=左記事項)を全職員が、居室内の保管物品等を把握して、危険を防ぐ取り組みをしている。	○	今後も継続したい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	設問67=全職員が一人ひとりの情報を「朝・夕の申し送り」で把握している。左記事項は介護の基本であるとの「認識」を持っている。形骸化になることのないように、機会教育を実施している。	○	今後も継続したい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	事例がある度に、全員で検討会を実施している。反省点・対応の仕方及びその必要性を周知している。更に、急変や事故発生時に必要な物品の個数等、所在を併せて確認している。	○	今後も継続したい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	平屋軽量鉄骨の建物で、火災等の避難誘導訓練を年間2回以上実施している。特に、地域の方へ協力依頼して「電話番号」も控えさせてもらっている。	○	今後も継続したい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	兆候を読み取り、起こり得るであろう「事項について」、家族と連絡を取り合い、左記事項を実施している。	○	今後も継続したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	設問72と同じように、緊張感を職員全員理解している。事が起きる兆候を受け止め、その日の勤務者は看護師である取締役施設長へ報告し、指示を受け対応。必要に応じ、取締役施設長から「家族・ホームドクター」へと連絡して対応する。	○	今後も継続したい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は薬の「誤薬=毒」であることを、書物・看護師である取締役施設長からの機会教育で理解している。かつ、その備付書物=「適応・用法付保険薬事典」で理解を深めている。利用者が服用後の状態を各職員は常に把握している。	○	今後も継続したい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	機会ある度に「朝・夕の申し送り」を通じて、看護師である取締役施設長へ報告して指示を受け実施。その都度、職員は教育を受けている。	○	今後も継続したい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	各職員及び利用者の一人ひとりが自覚して実施している。週一回の歯科医師の往診で、必要に応じ適切に相談して、支援している。	○	今後も継続したい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立(利用者の希望を含め栄養バランスを撰んでいる)に基づき確保。特に、検食簿を備え付け、また、水分摂取量も記録している。食材料は市販スーパー店へ出向き、肉は、「和牛」野菜・魚は「地物」で輸入品(中国産等)は食材には充当しない。これは、施設立ち上げから「これも当施設の目玉商品」となっている。	○	今後も継続したい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	全職員が理解し、「事の重要性」している。	○	今後も継続したい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理師免許を持った職員が、機会ある度に、各職員を指導している。看護師である施設長も、常に衛生管理に努めている。	○	今後も継続したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	平屋建てなので、左記事項の雰囲気(民家)はかもし出しやすい。特に、西側の窓に、今年は試験的に「苦瓜」を栽培している。(涼の効果)	○	今後も継続したい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	「老人=汚い・臭い」の代名詞を払拭すべく、各職員は認識している。左記事項以外に「臭気の澱み」を解消すべく、天窓の開閉で良い環境を保っている。	○	今後も継続したい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各ユニットに「和風(4.5畳)以外に、洋風「ソファーセット(5人掛け)」の共用空間を設けている。家族等の面会場所、及び、ある利用者の方は、「詩」を創作する時に過したり、多岐にわたり、利用している。	○	今後、左記事項は「家庭的な雰囲気」作りをしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設としては、左記事項について「規制」していない。自宅で「使い慣れた物や好みの物」の持込は可。各居室の表札「自宅感覚」で苗字で表している。利用者個人の作品を貼付したりして、独自の雰囲気作りをして過している。	○	今後も継続したい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	設問81「老人=汚い・臭い」の代名詞を払拭すべく、各職員は認識している。「臭気の澱み」を解消すべく、天窓の開閉で良い環境を保っている。温度調整は湿度との関連を重視して、外気温との差がないよう実施。温度調整は「職員に合わせる」のではなく、「利用者の体調」に合せている。	○	今後も継続したい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はすべて「バリアー」及び「手すり」を設置。浴室は車椅子利用者も「リフト」で、浴槽に肩までお湯につかることができる。玄関脇にも、靴が履けるように工夫をしている。更に、玄関への出入りは「スロープ」設置。	○	今後も継続したい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	塗り絵、詩集創作、菊作り、家庭菜園での育苗等に従事する場合は、職員が見守り支援している。	○	今後も継続したい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	夕日が沈む光景を「ウッドデッキ」から観賞、または「バーベキュー大会」、更には庭先での「外気浴」等で楽しんでいる。	○	今後も継続したい。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の
		②利用者の2/3くらいの
		③利用者の1/3くらいの
		④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある
		②数日に1回程度ある
		③たまにある
		④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が
		②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が
		②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が
		②利用者の2/3くらいが
		○ ③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が
		②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が
		②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と
		②家族の2/3くらいと
		③家族の1/3くらいと
		④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

全職員が実践していく中での判断基準（言行はこれに照らして）＝「真実か→どうか」「みんなに公平か→どうか」「みんなのために成るか→どうか」及び「好意と友情を深めているか→どうか」＝会社方針。この会社方針が、会社役員から管理職員から職員へ、更に介護を実践する場で活かされている。この四つの基準に反する職員は解雇（就業規則）、その職員に合う職場へ行くことが、「本人・他の職員及び利用者」のためになる。